



### 市民の保養所

## 峠の家・4月にオープン

◆青年たちに教養の場を与えよう

◆市民が気軽に利用できる保養所をつくらう

と、昨年から工事を進めていた「峠の家」が一部の内部設備を残し、このほど完成しました。

矢立の山々を背景に、ひとときわ精彩をはなつ赤い三角屋根そして、秋田杉の丸太を生かした玄関口 山の家にふさわしい2段ベッドなど、「峠の家」——その名にふさわしいりっぱなものです。(設計は建設課で担当)

開館は、内部設備をもっと充実してから、ということですが、4月早々を予定していますので、それまであと2カ月ほどお待ち願いたいと思います。

市では、峠の家そのものの設備だけでなく、大キャンプ場をこの地につくる計画をたて、市内唯一の保養地にしたい考えを持っており、青年の研修、レクリエーションはもとより、市民の皆さんの保養所として大いに利用し、明るく健康な市民生活を送っていただきたいと思っています。

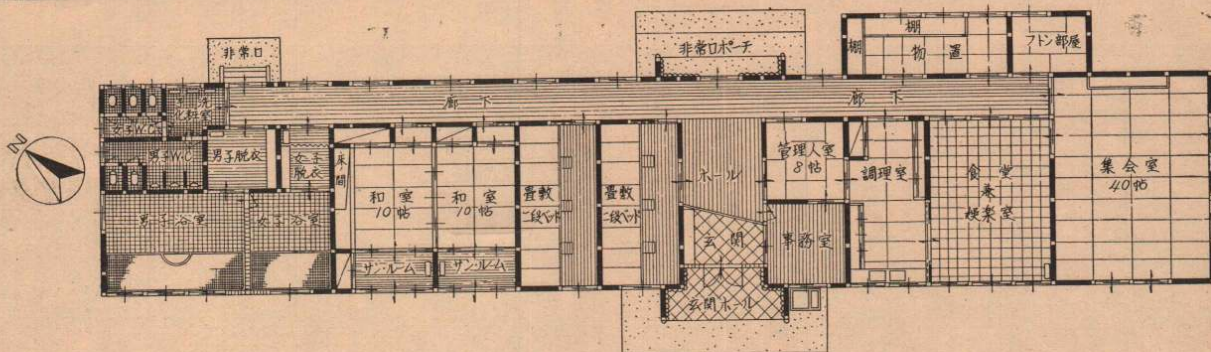
建築場所——矢立地区下内沢(日景温泉入口)

建築面積——45171㎡

敷地面積——283506㎡

建築費——2.163万1.000円

### <配置図>



### <城南小>

## 旧校舎(60年)にさようなら

42年12月から、総工費1億5,100万円をかけて建設中の市立城南小学校が完成(体育館は5月完成予定)し、1月21日、60年の間たくさんの思い出のある古い校舎に別れをつけました。

新校舎は、鉄筋コンクリート3階建て、普通教室29室、特別教室10室のほか、市内の学校でははじめての試みである球面黒板の使用、各階ごとにある手洗場など生徒を優先的に考慮した近代的なものばかりです。

3学期のはじまった1月21日、今日から新しい教室で勉強ということで、生徒も大はりきり、きっと、よい子になってくれることでしょう。



↑広びろとした玄関内部

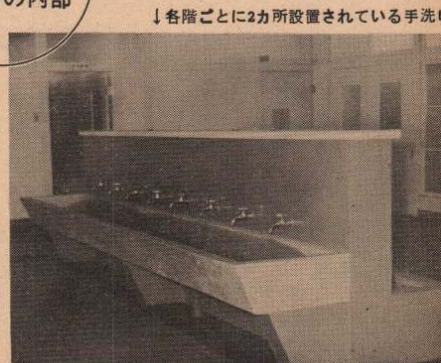


↑字が反射しない、じまんの球面黒板と見る教室

### 写真

#### てみる 新校舎の内部

↓巾広ろうかとカッコイイ階段



↓各階ごとに2カ所設置されている手洗場

## 議会の活動

(45.1.1 ~ 45.1.16)

### ○市民交通対策特別委員会

1月13日 市道の交通確保のための除雪対策について、市当局の説明を受けましたほか大館警察署長より、44年中の管内交通事故、その他について説明を受け、意見の交換をしました。

### ○議会運営委員会

1月14日 新年度の議会費見積り、その他について、委員会の意見を聴取しました。

### ○厚生常任委員会

1月16日 下代野児童館の建設状況、その他について、市当局の報告を受けました。